



koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向三丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077

https://kouryo-high-school.com / Eメール kouryo@chibagakuen.ac.jp

【生徒感想】



好き・得意・必要を仕事に

1月15日(月)、3年生のLHRで校長講話が行われた。校長先生は、就任当初から伝えている「時間」「お金」「情報」の大切さに加え、現在の年金や金融についてもお話しされた。人は、その時々によって必要なものが変わってくるつもり、自分で選択していくことの重要性を述べた。また、自分に優しく、自分を肯定してあげることも、時には必要で、そのことが周りにも良い影響を与えると語った。

校長講話

3年 高清水 里桜(南浜中学校出身)

将来や今後、大人になっていく上での大切な考えや行動を深く振り返る時間となりました。日々の生活の中で、自分をさげすみ、人と比べてしまうことが多く、最も大切な自分自身を肯定してあげられなかったと反省しました。また、「お金」「情報」「時間」は、時と場合によって必要性は変わってきますが、今の私には「時間」が課題です。時間は貴重であつたという間です。少ない時間の中でもいかに有効に時間を使うかが課題だと感じました。将来、少子高齢化は加速していきます。年金や老後の問題等、多くのことを考えながら生きていかなければなりません。今まで守られていた立場から、守る側になったとき、どう生きるか少しづつ考えていきたいと思います。自分を見失わず、正しい情報を得て、正しい判断ができるようになりたいと思いました。

3年 田所 涼太(相模原市立田名中学校出身)

社会に出てさまざまな経験した人でないと分からないお話をすることができました。校長先生がおっしゃっていた「好き・得意・必要」を生かして働いていきたいと思いました。何かにチャレンジすることで、原因や結果が出る、その結果を踏まえて次にどう行動していくかが大切だと改めて知ることができました。

3年 佐々木 例玖(名川中学校出身)

私が今日の講話の中で一番考えたことは、年金、老後のことです。普段はあまり考えないのですが、校長先生の話聞き、考えるきっかけになりました。私は、老後に備えて就職後すぐに貯金を始めようと思いましたが、老後に惨めな生活をしたくないからです。また、投資もしてみたいです。しかし、投資は難しいので、慎重にお金を増やす方法を考えたいです。そしてもう一つ、就職後に突き当たる問題について考えなければならぬと思います。それは、「お金」「時間」「情報」のどれが大切かということです。今は、乗りたい車のためにお金が欲しいですが、もしかしたら、趣味の時間が欲しいと変わるかもしれません。その時の状況に応じて、自分に必要なものを考えていきたいと思いました。



太鼓部 はっちでお正月

1月2日(火)、八戸ポータルミュージアムはっち・一階はっち広場において太鼓部がステージ発表を行った。このステージは、「はっちでお正月2024」と題し、新年を祝う華やかなイベント。太鼓部員たちは、創作太鼓「響」の皆さんとのコラボレーションし、ステージオープンングを飾った。会場には多くの観客が集まり、発表者に大きな拍手を送っていた。部長の水田幸馬さん(3年・市川中学校出身)は「部活動の引退となる最後のステージでした。地元のお正月を祝う華やかな雰囲気を感じる一人として参加できたことが嬉しかったです」と感想を述べた。



同窓会懇親会



1月6日(土)、八戸パークホテルにおいて同窓会「陵雲会」総会・懇親会が開かれた。総会後の懇親会では、参加者たちが近況報告をしながら交流した。規模を縮小しながらも開催できたことに、役員の方々もほっとした様子だった。本校は、令和8年度に創立50周年を迎えるため、同窓生たちは「自分たちにもできることで応援したい」と述べていた。

冬のスポーツをエンジョイ

1月12日(金)、テクノルアイスパーク新井田にてスケート教室が行われた。生徒たちは、久しぶりの氷の感覚を自由滑走しながらそれぞれ楽しんでいった。また、毎年恒例の教員チーム対各学年のアイスホッケー対決は一番の盛り上がりを見せた。連戦に息を切らしつつ意地でも負けたくない教員と教員から意地でも点を取りたい生徒たちの戦い。生徒のシュートが決まると全校が歓声をあげた。なかでも3学期から聴講生として来校しているニュージブラント出身の六郎田トムさん(17)がシュートを決めたときは、会場にいた全員が祝福した。六郎田さんは「初めてのスケートは不安でしたが、皆が私にシュートを決め

させようと動き、アシストしてくれました。決めることができて良かったです。皆が喜んでくれたのも嬉しかったです」と初めてのウインタースポーツの感想を述べてくれた。



異文化体験



1月18日(木)、人間学「人間と文化」の授業の中で2年生が手食文化を体験した。指先から感じる熱さや硬さなど「手」でなければ味わえない感触に、最初は戸惑いもあった生徒たちだが、最後は美味しくカレーを完食。菊地龍聖さん(2年・常総市立石下中学校出身)は「手食は、熱くて量が調節ができませんでしたが、美味しく食べました。やはり、食べ慣れている箸、スプーンが一番。でも違うからこそ他の文化に興味が出るんだらうな」と笑顔で話した。

調理実習



1、2年生が家庭総合の授業で調理実習を行った。今回は、ケーキのデコレーションに挑戦。生徒たちは、各グループごとに飾り付けの案を出し合い、デザイン画を描きながら必要な材料を準備。抹茶とあんこで和風テイストにするグループ、クラスメイトの似顔絵を描くグループ、クリームの色にこだわるグループと個性あふれるケーキが仕上がった。完成後は、自分たちのケーキはもちろん他のグループのケーキも味見し、いろいろな味を堪能した。クラスメイトの似顔絵を作成した宇野和志さん(1年・鮫中学校出身)は、チョコペンがすぐに固くなってしまったところに苦労しましたが、湯煎しながら上手に描けました」と仕上がりに満足していた様子だった。

1年生進路ガイダンス



1月17日(水)、ライセンスアカデミー主催の1年生進路ガイダンスが行われた。前半は全員で講師の横関信太郎さんの講演を聞いた。横関さんは、「社会が求める能力とは」「進学する意義、高校就職との違い」「なぜ勉強しなければならないのか」「高校生活ですべきこと」の4点をお話してくださいました。高校生のうち身に付けるべき事として

「ON・OFFの区別」「お金と時間の約束は絶対」「段取り命」の3つを挙げた。なかでも高校生は時間の約束が絶対守ること」と述べた。「期限を守れない・守らない人に仕事を任せたいと思うか」と語気を強める場面もあった。また、「苦手」は誰にでもあるものとし、だからこそ「苦手」で済ませることなく、どう取り組むのが重要とした。生徒たちにとって、日頃の学校生活を振り返り、そして進路について考える時間となったようだ。後半は、14の分野に分かれ専門分野の方々に協力いただき職業別体験型授業に参加した。

【情報処理・ゲーム・マルチメディア】

1年 奥寺 陽人(階上中学校出身)
コンピュータにおける物事の表現方法を教わりました。興味があることも、話が難しく理解できないところもありました。コンピュータの計算の仕組みや言葉の表し方は、今後も生かせると思います。パソコンでの実習ができたのは残念でした。実習ができれば、より進路について向き・不向きも知ることができるので、次はぜひ実習をやってみたいです。



【エンタメ】

1年 石井 涼太(根城中学校出身)
ACT初めの一步ということで、参加者で個性を尊重する、周囲に配慮するというのをやってみました。この分野に限らず、「周りの配慮」というのは、大事なことです。改めて実践することで実感できたような気がします。今後は進路に向けて普段から意識して生活していきたいと思いました。



【理美容】



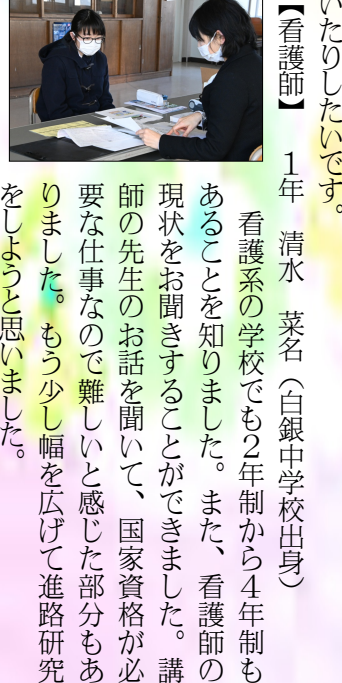
1年 籠田 博彬(第一中学校出身)
一言でいうととにかく楽しかったです。興味があった分野だったので、お話を聞くことでさらに関心を持ちました。髪の毛を編み込んで、花を形作る作業に挑戦しましたが、形がうまくいかず難しかったです。しかし、先生が優しく丁寧に教えてくださったおかげで、もっと理美容のことを知りたくなりました。

【メイク・エステ】1年 八田 真斗(白山台西中学校出身)
全然興味のある分野ではなかったのですが、進路の一つとして知ることができました。自分には向いていないというのを感じました。他の分野のこともいろいろ調べて、自分に合う進路選択をしていきたいと思っています。

【福祉】1年 竹居 雪乃(第三中学校出身)
お話ししてくださった方が、高齢者福祉施設で働いていらっしゃる方で、高齢者の食事体験をさせてもらいました。かぼちゃペースト状にした物、飲みやすいようにとろみをつけた飲み物を実際に食べてみました。健康な私たちからすると、噛み応えがなく物足りなかったですが、相手のことを考え、相手に合わせたサービスを提供する福祉のことを、もっと知りたくなりました。

【観光ビジネス】1年 龍田 琉生(品川区立戸越台中学校出身)
「るるぶ」名前の由来を聞きました。「見る・食べる・遊ぶ」の最後の文字だと知りませんでした。私は、東京出身なので、今は地元を遠くからみえています。離れてみて地元の良さを実感しているところなんです。もっと視野を広げていろいろなことを見たり聞いたりしたいです。

【看護師】1年 清水 菜名(白銀中学校出身)
看護系の学校でも2年制から4年制もあることを知りました。また、看護師の現状をお聞きすることができました。講師の先生のお話を聞いて、国家資格が必要な仕事なので難しいと感じた部分もありました。もう少し幅を広げて進路研究をしようと思いました。



【調理・栄養】

1年 梅内 大翔(名川中学校出身)
今回、フルーツロールの皿盛り体験をしました。絞り出すクリームのアレンジは難しかったです。初めてにしてはうまくできたと思います。私は将来、調理関係の仕事に就くことが目標なので、デザート作成、飾り付けもいつか役に立つと思うのでやりました。一緒に体験した人の飾りも「見て」勉強になりました。

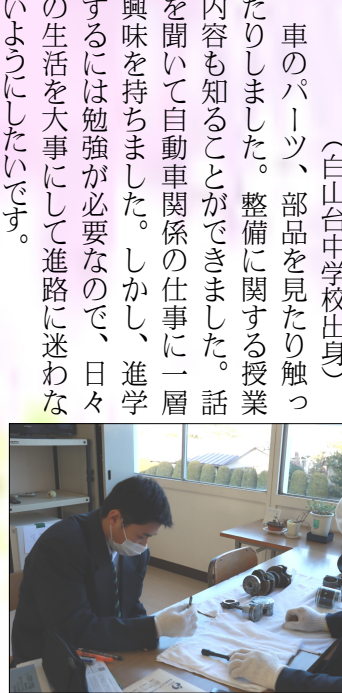


【スポーツ】1年 佐藤 蕾咲(南足柄市立足柄台中学校出身)
実際にテーピングを巻き、切り方や扱い方を学びました。肌がかぶれないようにスポンジを挟んで巻く方法も学びました。部活動にも生かせる体験でした。

【幼稚園教諭】1年 高橋 愛子(第三中学校出身)
コマなどの子供の遊びや子供ならではのゲームを体験しました。幼稚園教諭の仕事は、子供との触れ合いがあり、コミュニケーション能力が必要だということを感じました。この仕事を目標するのであれば、コミュニケーション能力を高めていかなければならないと思いました。

【動物】1年 内澤 ひかり(軽米中学校出身)
「動物をしつてみよう」ということで、指示を出す人と犬役に分かれて実践してみました。指示していたことが合っていれば、手を叩いて教えるのですが、動物(実際は人間)の動きや行動を理解するのは難しいと感じました。動物の分野への進学と就職とで迷っているのですが、少しでもイメージを膨らませることができたのは良かったです。

【自動車整備】1年 佐藤 勇斗(白山台中学校出身)
車のパーツ、部品を見たり触ったりしました。整備に関する授業内容も知ることができました。話を聞いて自動車関係の仕事に一層興味を持ちました。しかし、進学するには勉強が必要なので、日々の生活を大事にして進路に迷わないようにしたいです。



【建築・土木】

1年 大山 佑依(北稜中学校出身)
パソコンを使って製図作成をしました。覚えれば意外と簡単にできそうだと感じました。製図作成をもう少しやってみたいと思いました。建築関係の仕事に興味がありました。

【公務員】1年 田所 陽斗(相模原市立田名中学校出身)
公務員試験問題をやらせてもらいましたが、私も友だちも全く分かりませんでした。なりたいたい職業があっても、勉強が必要です。勉強が苦手でも、勉強をしなくてはと思ったガイダンスでした。体を使った仕事を選ぶのがいいのか、自分でできることは何なのかなど考えたりしました。



2年生就活の進め方

1月24日(水)7校時、株式会社キャリアプロデュースの桑名嶋さんと株式会社建機サービスの尾形英樹さんをお招きし、2年生進路ガイダンスを行った。今回のガイダンスは就職希望者が対象で、主に就職活動の進め方を教わった。桑名さんは、応募書類の作成に欠かせない志望動機について「会社の説明ではなく、会社のどんなところを見て決めたのか」を具体的に書くことが大事と述べた。さらに、「自己PRでは「過去のあなたより未来のあなたを知りたい」と話され、過去を踏まえそんな人間になりたいかをアピールすることと助言してくださいました。続いて、尾形さんは、高校時代を振り返り、自身のお話をしてくださいました。「自分はやりたいことはなかったけれど、皆、きつと心の中にやりたいことはあるはず」と声を張り、「人に聞いて決めるのではなく、最終的には自分で決めること」の大切さを力説した。最後に、これからの生活について大事な十項目を提示していただいた。生徒たちは、「一つでもやる」という強い意志を持ったようだ。就職活動はすでにスタートしている。

